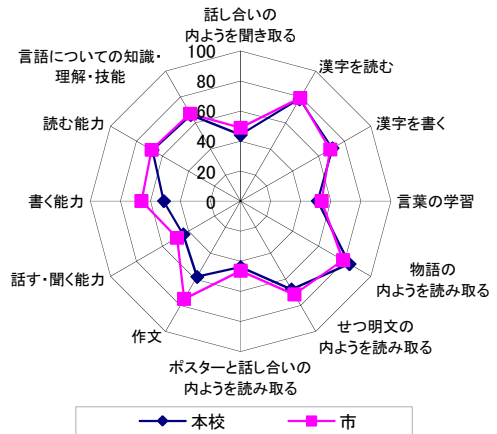


宇都宮市立御幸小学校 第4学年【国語】問題の内容別／観点別正答率

★本年度の市と本校の状況

		本年度	
		本校	市
問題の内容別	話し合いの内ようを聞き取る	44.1	48.8
	漢字を読む	78.4	79.3
	漢字を書く	70.5	68.8
	言葉の学習	51.4	53.8
	物語の内ようを読み取る	83.6	78.7
	せつ明文の内ようを読み取る	67.8	71.6
	ポスターと話し合いの内ようを読み取る	43.8	46.3
	作文	58.0	75.1
	観点別	話す・聞く能力	44.1
書く能力		51.2	65.9
読む能力		67.7	68.4
言語についての知識・理解・技能		66.2	67.2



★指導の工夫と改善

問題の内容	本年度の状況	今後の指導の重点
話し合いの内ようを聞き取る	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均を下回っている。 話し手の話し方の工夫の共通点に気を付けて聞き取る問題で、適切な選択肢を選ぶことができていない。 	<ul style="list-style-type: none"> 相手を意識した話の仕方や聞き方を日ごろから意識して指導していく。 朝の学習や帰りの会を使ってスピーチや質問タイムを設定していく。
漢字	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、読みも書きも市の平均を少し下回っている。 特に「駅」の書き取りの問題の正答率が低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 既習漢字は生活の中でなるべく使用するよう日ごろから指導していく。 ドリルなどを使っての家庭学習の定着を図る。 読書を奨励し漢字と触れ合う機会を多く持つようにさせる。
言葉の学習	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均を下回っている。 文の構成(連体修飾語)について答える問題の正答率が低かった。 ことわざの使い方についての正答率も低かった。 	<ul style="list-style-type: none"> 主語、述語、修飾語の意味を理解したうえで、それらの関係を正しくとらえられるように指導していく。 日ごろから生活の中でことわざを取り上げていく。
物語の内ようを読み取る	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均を上回っている。 登場人物の気持ちを読み取る問題の正答率が高かった。 	<ul style="list-style-type: none"> これからも引き続き登場人物の会話文や行動描写から心情の変化を読み取る指導をしていく。 みゆきチャレンジ50(必読図書)などを児童にすすめていく。
せつ明文の内ようを読み取る	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均を下回っている。 接続語、文末、大事な言葉を手掛かりにして、文章を読み取ることができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 手掛かりとなる言葉に注目させ段落相互の関係を意識しながら筆者の意図をもとに要点をまとめることができるように指導していく。 朝の読書や並行読書で、説明的文章を読む機会を意図的に増やしていく。
ポスターと話し合いの内ようを読み取る	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均を下回っている。 資料を読み取って、適切な言葉を使って文を書き直すことができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 他教科でも、資料の読み方や見方について、正しくとらえられるように指導していく。また、読み取った資料を文章で表す活動を多く取り入れる。
作文	<ul style="list-style-type: none"> 平均正答率は、市の平均をかなり下回っている。 指定された長さで文を書いたり、二段落構成で文を書いたり、自分の意見と理由を区別して書いたりすることができない。 	<ul style="list-style-type: none"> 書くことSUの時間に、長さを指定したり、段落構成を意識させたりしながら、指導していく。また、自分の考えを書いたり話したりするときに理由を付け加えさせるようにする。